

10万人首切り攻撃の先頭=動労「本革マル」を一掃せよ

労働運動で何が起きていらるか
Moz 2

モーリー

政府・自民党、監理委員会、国鉄当局が「分割・民営化」!!
国鉄労働運動解体にむけ、十万人首切り攻撃を強行していると
き、勤労「本部」革マルは「三本柱の実効をあげよう」とい
なし「全員で出向・休職しよう」なる運動を推進し、当局の首
切り攻撃に手を貸している。この最悪の反動分子が支配する動
労職場の実態を明らかにし、追放・一掃にむけ闘いぬく決意を
明らかにする。

政府・自民党、監理委員会、国鉄当局が「分割・民営化」!!
国鉄労働運動解体にむけ、十万人首切り攻撃を強行しているとき、動労「本部」革マルは「三本柱の実効をあげよう」といふなし「全員で出向・休職しよう」なる運動を推進し、当局の首切り攻撃に手を貸している。この最悪の反動分子が支配する動労職場の実態を明らかにし、追放・一掃にむけ闘いぬく決意を明らかにする。

労使一体で出向、休職を
推進する動労革マル

前号で、若手青年部員を中心とした「セールスセンターハウス」への送り込みの実態を明らかにしたが、「出向」については「東京地本」から四七名、「新幹線地本」から四名が応じ（ちなみに元東京地青部長・革マル鳴海恭二28才は一時帰休）十二月二十五日に合同で「激励会」なるものを行つた。

そして、この「激励会」には革マル・松崎をはじめ、なんと東鉄三局の代表も出席し「動労の取り組みなしに国鉄最初の派遣も全く成功しなかつた。熱意と決意に頭が下がる」と感謝のことばを述べているのだ。労使一体となつた「国鉄を守る」ための、なんとも涙

くましい努力である。

一派遣の応じるな」と詫怨する

勤勞上野

ホテル派遣者の東京地本・新幹線地本
同激励会盛大に開催

以前に出勤し翌日の十時をすぎても帰れず、休憩、仮眠は三時間」
こ、あまりのひどさに悲鳴をあげている。

そして「労働の仲間」に対し、「派遣を決意するといふならやめた方がいいと思います。派遣ということをよく考え、どういう立場にたたされるのかといふことを考えてほしい」と、だまされて出向に応じてしまつた愚をくやみ、出向などするなと訴えているのだ。

曾布川は「あと三年たねばもとの職場には帰れません。職場に残つてゐる仲間が私の職場を守ってくれると信じている」と、全く展望のない職場復帰に一途の望みを託しているのだ。

しかし、一月十日の「再建」案でも明らかなように「過員は六五年で六七〇〇〇人に達する」との現実は職場にもどれる保障など何ひとつないのである。

一 6 ● 「タイ改」の爆発で
動労革マルの追放 ● 一掃かちとわ

ところで、千葉地本の諸君はどうであろう。
土屋粹「委員長」は年頭の決意で、「自ら骨身を削る覚悟と『国鉄を国鉄として残す』ために全力をあげて奮闘する」と述べている。大いにやつてもらおうではないか。

分子以外、誰一人とし
るものはいないのだ。

なぜなら、勤労「本部」革マルの方針は当局になり代つて「職場と仕事と生活を奪う」ものであるからだ。もはや革マル路線の反労働者性はあまりにも鮮明となつた。

日刊
動力
平素

85.1.18
No.1841
國鐵千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)一九三五〇六・(公衆)〇四七二二(22)七三〇七